

学校教育自己診断 教職員者用集計結果

(回収数47)

		令和2年度	
		数	割合
学校の教育目標が共有され、全員で協働して、組織的に教育活動に取り組んでいる。	①	9	18.8%
	②	24	50.0%
	③	11	22.9%
	④	4	8.3%
学校にはPDCAサイクルに沿った改善思考が浸透している。	①	3	6.3%
	②	16	33.3%
	③	23	47.9%
	④	6	12.5%
学校は生徒の学力伸長や進路実現のために一体となって取り組んでいる。	①	11	23.4%
	②	23	48.9%
	③	12	25.5%
	④	1	2.1%
学校は生徒の健康や安全に十分配慮している。	①	17	35.4%
	②	29	60.4%
	③	2	4.2%
	④	0	0.0%
学校は新たな課題や生徒の実態に対して適切に対応している。	①	8	17.0%
	②	29	61.7%
	③	9	19.1%
	④	1	2.1%
学校の特別活動や部活動は人間力を育成する上で大きな意味がある。	①	35	72.9%
	②	12	25.0%
	③	1	2.1%
	④	0	0.0%
学校の教育相談体制は十分に機能している。	①	15	31.9%
	②	22	46.8%
	③	10	21.3%
	④	0	0.0%
学校の人権教育体制は十分に機能している。	①	8	16.7%
	②	28	58.3%
	③	12	25.0%
	④	0	0.0%
学校は特色や教育活動を保護者や社会に発信するように努めている。	①	9	18.8%
	②	25	52.1%
	③	14	29.2%
	④	0	0.0%

		令和2年度	
		数	割合
各教科において学習指導計画や評価について十分な議論がなされている。	①	10	20.8%
	②	30	62.5%
	③	8	16.7%
	④	0	0.0%
自分は指導内容・方法など工夫・改善をおこない、生徒の意欲喚起に努めている。	①	12	25.5%
	②	32	68.1%
	③	3	6.4%
	④	0	0.0%
教授法や教材研究など自己研鑽の時間や生徒と向き合う時間が確保できている。	①	5	10.9%
	②	18	39.1%
	③	18	39.1%
	④	5	10.9%
校長は教職員が気持ちよく教育活動に取り組めるように学校経営に努めている。	①	7	14.6%
	②	21	43.8%
	③	12	25.0%
	④	8	16.7%
校長はめざす学校像を実現するためにリーダーシップを発揮している。	①	6	12.5%
	②	25	52.1%
	③	12	25.0%
	④	5	10.4%
総合的に見て、寝屋川高校は高い教育力を発揮している。	①	7	15.2%
	②	30	65.2%
	③	9	19.6%
	④	0	0.0%